

令和8年度 第2回臨時理事会議事録

期 日：令和8年9月16日（水）18：30～20：30

会 場：岩手リハビリテーション学院, オンライン

出席者：及川龍彦 佐藤英雄 武田浩二 菊池賢汰 野中一成 小林太志
澤口裕樹 久野純治 藤岡 求 (理事)
赤坂康志 (監事)

欠 席：三浦正徳 関 公輔 藤井祐輔 及川 哲 佐藤晋樹（公務の為）

書 記：菊池賢汰

報告事項

- 1, 会長行動報告（及川龍彦）
- 2, 部門代表理事業務報告（佐藤英雄, 武田浩二, 三浦正徳, 関公輔, 菊池賢汰）
- 3, 支部座談会開催報告（菊池賢汰）
- 4, 協会関連事業派遣報告（菊池賢汰）
- 5, 研修派遣報告（菊池賢汰）
- 6, 士会承認セミナー・症例検討会報告（菊池賢汰）
- 7, 会員異動状況報告（菊池賢汰）
- 8, 事務部業務報告（菊池賢汰）
- 9, 理学療法週間事業実施報告（小林太志）
- 10, 各種派遣報告（武田浩二）
- 11, 協賛・後援事業報告（武田浩二）
- 12, 高齢者運動教室実施報告（野中一成）
- 13, 第108回全国高等学校野球選手権岩手大会メディカルサポート事業（及川哲）
- 14, 令和8年度岩手県高野連選抜チーム交流試合スタッフ派遣事業（及川哲）
- 15, パラスポーツ指導者資格取得状況の調査事業（及川哲）
- 16, 産業保健支援係事業（澤口裕樹）
- 17, 小児リハに関する有識者懇談会開催報告（野中一成）
- 18, 生涯学習制度支援ブース設置報告（藤井祐輔）
- 19, 臨床研究支援セミナー（久野純治）
- 20, 生涯学習前期研修会事業報告（ウェブ研修）（藤岡求）
- 21, 生涯学習後期研修（内部障害領域）事業報告（藤岡求）
- 22, 理学療法標準化研修会①（運動器）事業報告（藤岡求）
- 23, シルリハ指導者講習会の視察開催報告（関公輔）
- 24, 支援学校での理学療法の取り組み視察（藤岡求）
- 25, 広聴課ブース設置報告（佐藤晋樹）

- 26, 広聴課受付報告（佐藤晋樹）
- 27, 令和 8 年度第 1 回胆江支部施設間意見交換会（佐藤晋樹）
- 28, 政治活動報告（及川龍彦）
- 29, 第 2 6 回岩手県理学療法学術大会準備報告（野中一成）
- 30, 6 0 周年記念事業実行委員会（澤口裕樹）

協議事項

第 1 号議案「国内旅行傷害保険契约会社」承認の件

菊池理事より、令和 8 年度第 1 回定期理事会において、保険契约会社について承認をいただいたところであるが、その後、代理店である東北永愛友商事岩手盛岡支店担当者より、該当保険商品が廃止になったことを受け、別商品について提案がなされた旨が説明された。加えて、下記保険商品の提案があったことから、以下の会社と契約を結んで良いか、利益相反関係を確認の上、承認をいただきたい旨が説明された。

名称	国内旅行傷害保険
保険会社	AIG 損害保険株式会社
代理店	東北永愛友商事岩手盛岡支店

及川会長より、提案がなされた商品はこれまでと同様の保証内容であるかについて問われ、菊池理事より若干金額は上がるものの、保証内容は同様である旨が説明された。また利益相反関係がある役員はいなかった。その他、質問・意見等なく、全会一致で承認された。

第 2 号議案「繰越金整理方針」承認の件

及川会長より、本会ではコロナ禍における事業縮小や単位年度の執行残により時期繰越金が肥大化している旨が説明された。本会は一般法人であるため、公益法人のように厳密な取り扱いに言及されることはないが、繰越金が必要以上に多いことは本来使用される目的をもっていないように誤解される恐れがあることから、コロナ禍が沈静化した今、適切な使用目的に分配した予算計上を行い、会員の理解を得る必要性があることが説明された。なお、今回の提案については繰越金が肥大化しているから分配するものではなく、本来的に目的をもって積み立てる必要があった項目であるにもかかわらず、コロナ禍前における決算の厳しさから、今回を機会に改めて項目立てするものである旨が説明された。また、外部監事からは本件に関して、会員の理解が得られるよう丁寧な説明を行うこと、今回の繰越金整理に伴い、会計技術上、見た目の赤字決算となること、万が一会費収入が全くない状況にあっても当面の持続可能性を維持できる繰越金額の保有はむしろ必要であることが指導されている。

ることも併せて説明された。事業を行うにあたり、想定不能な出来事に対する防衛策としての積立に合わせ、現執行部以降の固定資産取得の可能性も鑑み、以下の提案がなされた。

令和8年度事業費	体操動画制作費	1,500,000 円
	令和9年度繰越金	7,222,136 円
令和9年度事業費	提案事業備品購入費	3,000,000 円
	60周年記念事業積立金	2,000,000 円
記念事業積立金	70周年記念事業積立金	1,500,000 円
	岩手県理学療法学術大会積立金	2,000,000 円
事業整備積立金	東北理学療法学術大会積立金	1,000,000 円
	災害時支援準備積立金	1,000,000 円
資産取得積立金	不動産取得費用	1,500,000 円

以上の提案について、会計項目の積立金を使用した場合、減額となってゆくが、その後をどのように考えているか、との質問に対して、及川会長より原則翌年度以降の補填とし、多額の場合には複数年度をかけて当初額を維持してゆく方針が示された。他に質問・意見等なく、全会一致で承認された。